

2023年12月期 決算補足説明資料

JIG-SAW株式会社

2024年2月5日

2024年度のJIG-SAW

- 36四半期連続増収と確実な利益、そして継続的な先行投資を実行
過去9年間、36四半期連続の増収を継続しており、既存事業から創出される着実な事業利益を毎年度確保・投資源泉とし、引き続き来るべき壮大なIoT化とインターネットのデータコントロール需要の全盛時代に向け、**高い成長への着実な取り組み**とともに、**クラウドセキュリティSaaSサービスを一気に投入**してまいります。
- **EXG** ↗ (Exponential Growth：指数関数的な成長) へ
当社は2023年以降をEXG ↗ (Exponential Growth：指数関数的な成長) 期間と位置付けており、JIG-SAWとして初の合併企業、**SBIグループとのSBI JIG-SAWモダナイゼーションズ※の設立に合意 (2024年1月に設立完了)**し、現行の既存事業であるデータコントロール事業の領域を**一気に金融業界全般・そしてグローバルに押し上げていく**こととなります。
- **EXG** ↗ をより一層高いレベルで実行していくための先行投資と新事業開発
IoT分野においては**NTT東日本との業務提携契約**を公表していますが、ベースにある当社のIoTコア技術はグローバルでも高く評価されており、日本のみならず欧米での展開を加速していくとともに、自動運転ソフトウェアライセンスの商用化／ビジネス拡大等を**一気に推し進めます**。これらは2024年において**大きなビジネスインパクト**へ繋がっていくことが期待されます。

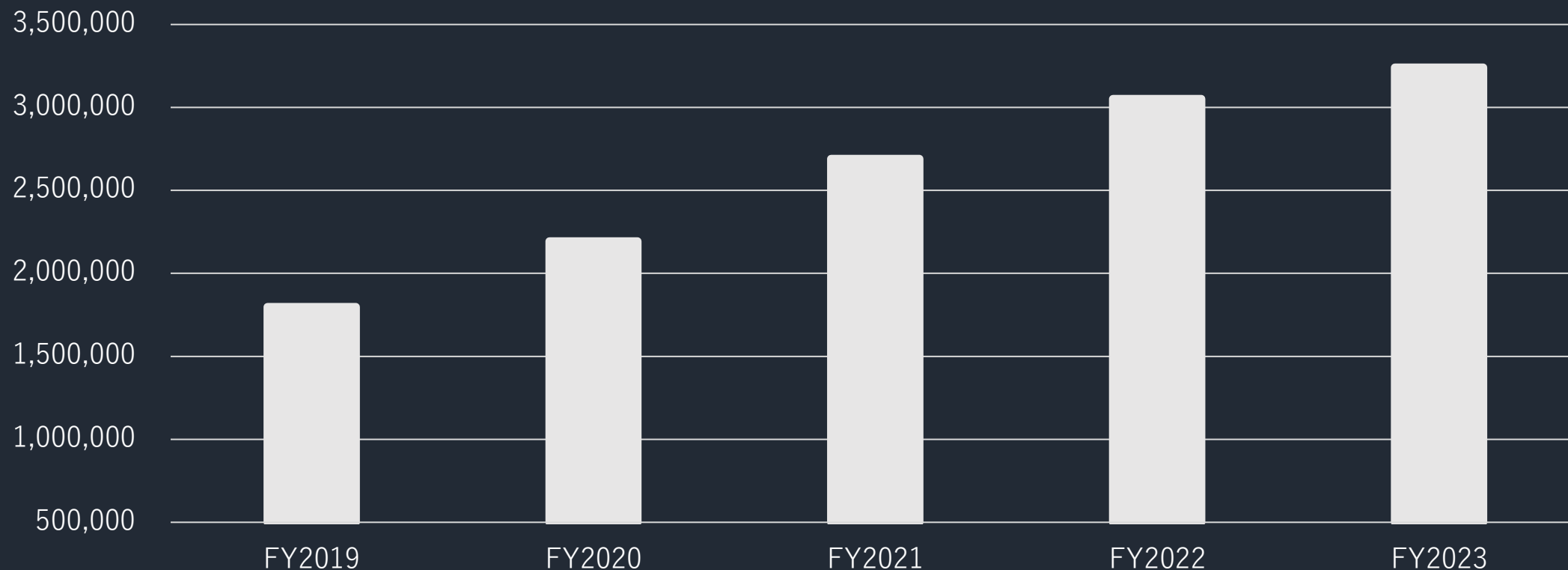
※出資比率：SBIセキュリティ・ソリューションズ 51%・JIG-SAW 49% (持分法適用会社)

詳細は、2023年11月28日付の当社プレスリリース参照

売上高推移

システムマネジメントサービスが売上高を牽引し、
極めて堅調な成長を実現

(単位：千円)

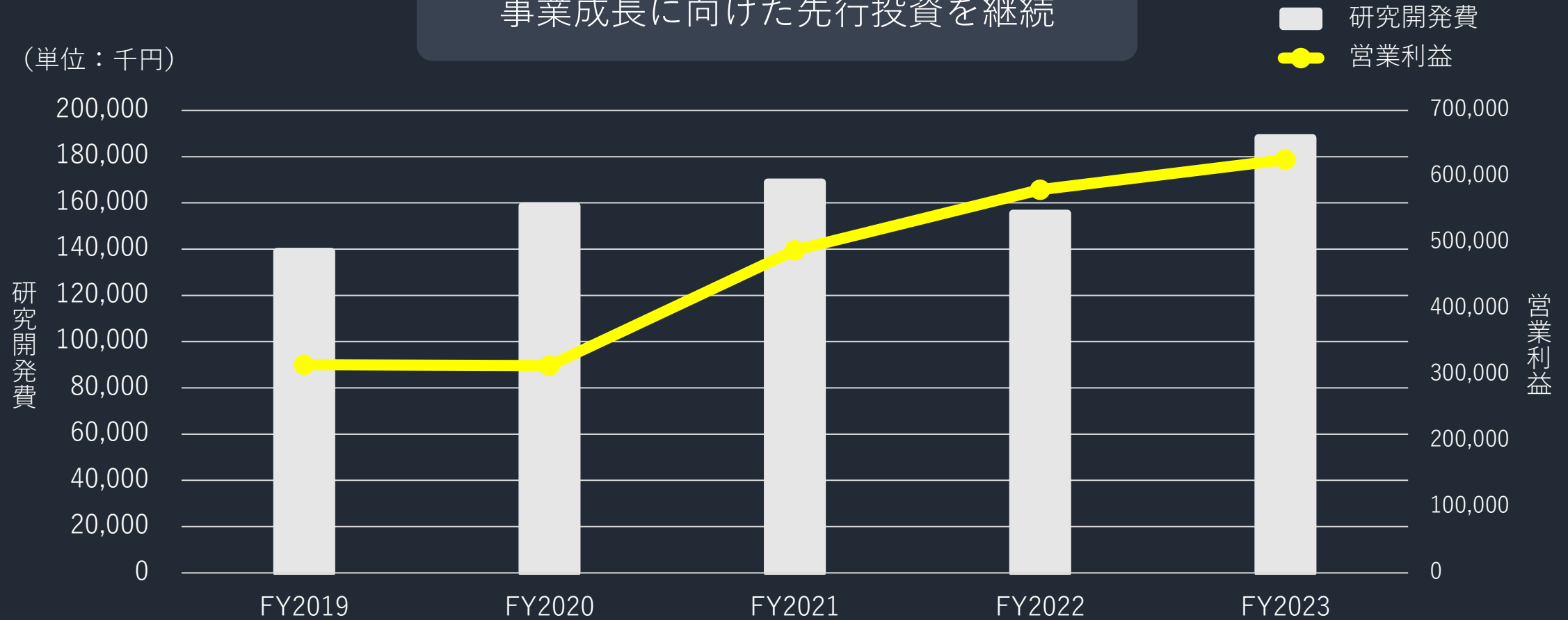


上場以来**36四半期連続**で**過去最高**の月額課金売上の**プラス成長**

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年度から適用しており、2021年12月期の売上高については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

研究開発費・営業利益推移

事業成長に向けた先行投資を継続

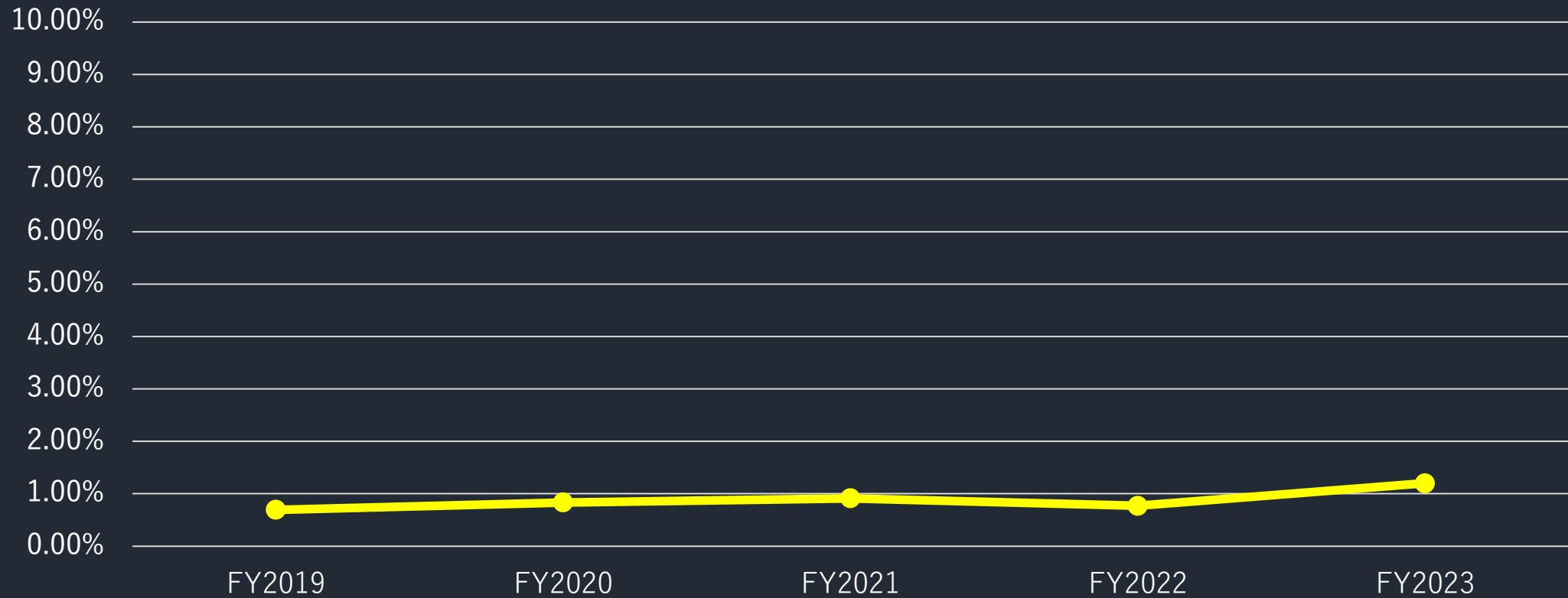


研究開発・販売促進・人的資本投資・グローバル展開のための先行投資を積極的にを行いながらも **営業利益のプラス成長を実現**

※研究開発は主にNEQTO、自動運転、再生医療分野など

解約率推移

解約率は**低水準を維持**



※解約率：既存契約金額に占める解約に伴い減少した金額の割合

本資料の取り扱いについて

本発表に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。将来の実際の業績や財務状況は、予測とは大きく異なる可能性があります。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込みまたは買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。個別契約やビジネス等に関する情報につきましては、秘密保持契約等に基づき原則非開示となりますが、開示が可能となった段階で適時適切にニュースリリース、適時開示を行ってまいります。IR取材や決算説明会等におきましても、上記と全く同様の対応をしております。